

# スチューデントコース

## 問題

### 特許検索競技大会2020

試験時間	90分
------	-----

#### 【 注意事項 】

1. 監督者の指示がある場合、その指示に従い試験を行ってください
2. この問題用紙は全 15 ページあるので確認してください
3. 試験中はインターネットによる無料検索サイトの利用が可能です  
(Google、Yahoo! JAPAN、特許情報プラットフォーム (J-PlatPat) 等)
4. J-PlatPat の具体的な使い方については、J-PlatPat のパンフレットを参照してください。  
(<https://www.inpit.go.jp/content/100868789.pdf>)
5. 最終頁に解答用紙がありますので、適宜ご使用ください

氏名	
----	--

無断転載を禁じます

著作権は一般財団法人工業所有権協力センターに帰属します

令和 年 月 日

一般財団法人工業所有権協力センター

### 【問1】のねらい

J-PlatPat を利用した知財情報の調査を、まず商標の検索から始めてみる。

商標制度の基本について知り、J-PlatPat を利用した商標検索の基礎と応用を学ぶ。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

### 【問1】

次の(1)～(3)の各問について、J-PlatPat の商標検索を利用して解答しなさい。

- (1) 「商標」は、企業、自治体などの団体や個人が、自己が生産、証明、譲渡する商品や、自己が提供、証明する役務（えきむサービスのこと）を、他人が生産、提供等する商品・役務と区別するために、その商品・役務について使用するマーク（文字、図形、記号、立体的形状、音等）である。

国立大学法人東京工業大学では、商標「J-c a t」を登録している。J-PlatPat を利用して、商標「J-c a t（ジェイキャット）」について検索を行い、その中から国立大学法人東京工業大学が権利者である商標の登録番号を、7桁の数字で解答欄に記入しなさい。

### 参考

#### 【J-PlatPat のトップページ】



#### 【検索の一例】

J-PlatPat のトップページから、「商標」→「商標検索」を選ぶ。

次に、たとえば、「商標（マーク）」の「検索項目」欄で「商標（検索用）」を選び、「キーワード」欄に「J-c a t」等（全角/半角、大文字/小文字のいずれを入力しても検索可能）と入力する。

「商標（検索用）」の代わりに「称呼（単純文字列検索）」を選び、「キーワード」欄に、「ジェイキャット」等と入力してもよい。

次に、「検索」ボタンをクリックすると、検索結果が一覧表示される。

商標登録出願人や商標権者で検索するときは、「その他の検索キーワード」の「検索項目」欄で、「出願人/権利者/名義人」を選び、「国立大学法人東京工業大学」、「?東京工業大学」（後方一致検索）等と入力する。

- (2) 商標登録を出願する際には、商標の使用をする商品・役務について指定商品・指定役務として、具体的に記載する必要があり、商標登録後は、指定商品・指定役務について登録商標を使用する権利を専有できる。

**国立大学法人群馬大学では、「群を抜け」で始まる商標を登録している。J-PlatPat を利用してこの商標を検索し、その指定商品・指定役務に含まれるものを以下の選択肢 a.～e.の中から3つ選択し、解答しなさい。**

※ J-PlatPat の商標検索で「検索項目」欄に「商標（検索用）」を選んだ場合、「群を抜け？」と入力すると「群を抜け」で始まる商標の検索（前方一致検索）が可能である。

選択肢：

- a. 化粧品
- b. 大学及び大学院での教授
- c. ワッペン
- d. スマートフォン用カバー
- e. ふきん

- (3) 商標権は、出願人からの出願を特許庁の審査官が審査し、拒絶理由がなければ登録査定が出され、登録料が納付されると登録される。拒絶理由がある場合には、出願人は手続補正書や意見書を提出して、拒絶理由を解消したり、審査官に反論したりすることができる。商標権は登録日に発生し、その日から10年が経過すると消滅する。なお、商標権者が更新の手続きを行うことで、商標権は10年ずつ何度でも更新することができる。

商標登録出願 2004-013384 号（商願 2004-013384）は、出願から登録までに、出願人と特許庁との間で、書面による手続きが何度かなされている。

**この出願について J-PlatPat を利用してその出願・登録情報および審査経過（経過情報）を調べ以下の①～⑤に解答しなさい。①～④の日付については、それぞれ西暦で解答欄に記入しなさい。**

**⑤の権利者については、以下の選択肢 a.～e.の中から1つ選択し、解答しなさい。**

ただし、この商標の今後の更新申請はないものとする。

※ 商標出願が登録（権利化）されているか等の経過情報は、「商標検索」画面の「検索結果一覧」または個々の案件の「商標出願・登録情報」画面の右上「経過情報」ボタンから確認できる。また、「経過情報照会」画面では、審査記録と登録記録が「経過記録」タブで、出願から登録されるまでの情報が「出願情報」タブで、登録されている場合は、登録以降の情報が「登録情報」タブで確認できる。

- ① 出願日
- ② 登録日
- ③ 審査官による拒絶理由通知の送付（発送）の後に、手続補正書が提出された日
- ④ この登録商標の存続期間満了日（権利が消滅する日）
- ⑤ 権利者

選択肢：

- a. 株式会社山大
- b. 学校法人松山大学
- c. 国立大学法人山形大学
- d. 国立大学法人山口大学
- e. 国立大学法人岡山大学

【問2】のねらい

- ① J-PlatPat を利用して特許文献を照会・検索する方法を理解する
- ② 公報の読み方の基本を理解する
- ③ 分類の使い方の基本を理解する

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

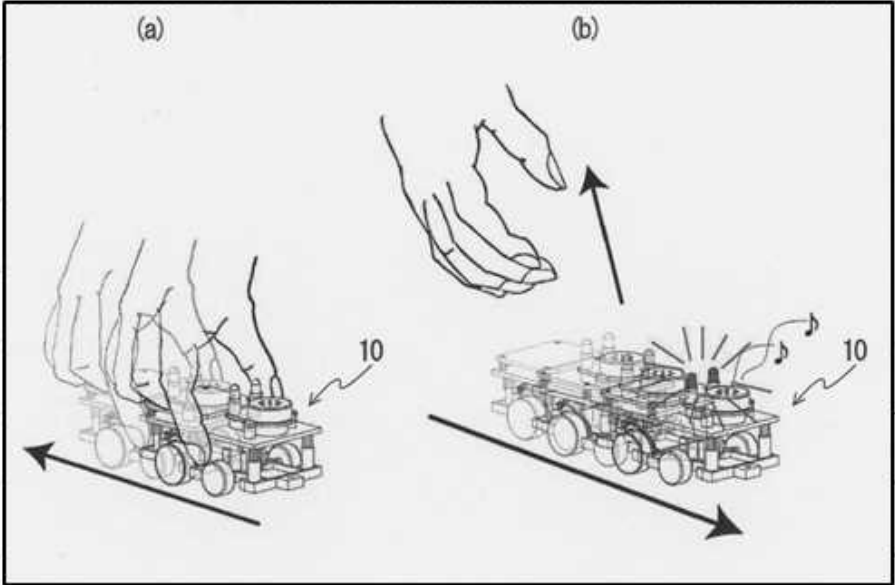
【問2】

Aさんが、正月休みに郷里の実家に帰ったときに、兄夫婦と子供達も遊びに来ていた。Aさんは、子供達が床の上で後ろに引いて手を離すと前に走るゼンマイ車の玩具で遊ぶのを見て、「後ろに引いたときのゼンマイの復元力で走りながら、その復元力で発生させた電力でランプが光る乗物玩具」を思いついた（Aさんのアイデア）。

以前から自身のアイデアを特許出願してみたいと思っていたAさんは、卒業して企業の知的財産部で働く先輩Bさんに相談してみたところ、Bさんより以下の返信を受け取ったので、その公報を確認してみることにした。

Aくんへ

ひさしぶり。君のアイデアだが、以下の図のようなものかな？



これは、ぼくがJ-PlatPatで見つけた特開 2015-136603 という公開特許公報に記載された図だ。これだけでなく、他の公報にも、似たような発明を載せたものが見つかったよ。

新しい技術でないと特許が認められることはないから、とにかく公報の内容を確認してみるといいよ。

Bより

※公開特許公報には、その出願の「出願番号」、「公開番号」、「出願日」、「公開日」、「出願人」、「発明者」、「発明の名称」、「要約/抄録」、「特許請求の範囲」、「発明の詳細な説明」、「実施例」、「図面」等が記載されている。

- (1) J-PlatPatの「特許・実用新案」メニューの中の「特許・実用新案番号照会/OPD」を利用して、Bさんが教えてくれた公開特許公報（特開 2015-136603）にアクセスし、その公報の公開日を調べ、解答欄に西暦で記入しなさい。
- (2) 続いて、上記（1）でアクセスした公報の経過情報を調べ、同公報に対応する出願の経過としてわかることを、以下の選択肢 a.～e.の中から2つ選択し、解答しなさい。

※ 特許出願が審査請求されているか、登録（権利化）されているか等の経過情報は、「特許・実用新案番号照会/OPD」画面の「検索結果一覧」または個々の案件の「文献表示」画面の右上「経過情報」ボタンから確認できる。また、「経過情報照会」画面では、審査記録と登録記録が「経過記録」タブで、出願から登録されるまでの情報が「出願情報」タブで、登録されている場合は、登録以降の情報が「登録情報」タブで確認できる。

選択肢：

- a. 審査請求せずに取下げ処分となっている。
- b. 審査請求後、審査の過程で拒絶理由が1回通知された。
- c. 審査請求後、審査の過程で拒絶理由が2回通知された。
- d. 審査請求後、審査の過程で拒絶査定となり、特許成立・登録に至っていない。
- e. 特許が成立し、登録になった後に、現在も権利維持されている。

- (3) 問題で示された公報の「発明の詳細な説明」の中で、Aさんのアイデアがすべて記載された段落を、以下の選択肢 a.～e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. 【0002】
- b. 【0009】
- c. 【0016】
- d. 【0022】
- e. 【0028】

- (4) Aさんは、乗物玩具の発明にさらに興味をもった。そのことを先輩のBさんに伝えたところ、Bさんからは、J-PlatPatの「特許・実用新案検索」を使えば、過去にどんな発明や考案が出願されているのかを検索することができることを教わった。あわせて、Bさんからは、「簡単な検索方法として『キーワード検索』というものがあるが、検索項目の選び方や、キーワードの表記の違いによってヒット件数が異なるため、注意下さい」との助言があった。

Aさんは、さっそく、J-PlatPatの「特許・実用新案検索」でキーワード検索を行って、乗物玩具に関する発明や考案を調べてみることにした。

※ J-PlatPatでは、公開特許公報をはじめ特許・実用新案公報、外国文献等の、出願人名、発明者名、発明の名称等を含む「書誌的事項」、発明や考案の要旨を簡潔にまとめた「要約/抄録」、「請求の範囲」、「明細書」等のそれぞれについて、キーワードを用いて検索することができる。

J-PlatPatで、キーワード検索の検索項目として「全文」を選ぶと、「書誌的事項」、「要約/抄録」、「請求の範囲」、「明細書」を含めて検索を行う。

Aさんは、最初に、検索項目として「要約/抄録」だけを選び、「玩具」AND「車」AND「ゼンマイ」AND「光」と入力して検索すると、ヒットした公報の件数は3件であった。

#### 【検索画面】

※ ここでは、検索にあたって、「テキスト検索対象」で「和文」のラジオボタンを選択し、「文献種別」で「国内文献 all」のチェックボックスのみを選択している。

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there are tabs for '選択入力' (Selected Input) and '論理式入力' (Logical Formula Input). Below this, the 'テキスト検索対象' (Text Search Target) section has radio buttons for '和文' (Japanese) and '英文' (English), with '和文' selected. The '文献種別' (Document Type) section has checkboxes for '国内文献 all' (checked), '外国文献' (Foreign Documents), '非特許文献' (Non-patent Documents), and 'J-GLOBAL'. The '検索キーワード' (Search Keywords) section has a '検索項目' (Search Item) dropdown menu with '全文' (Full Text) selected. A callout box points to this dropdown with the text '選択できる各検索項目' (Selectable search items). The search input field contains '例) 感染を予防' and the '近傍検索' (Nearby Search) button is visible.

選択入力    論理式入力

テキスト検索対象  
 和文     英文

文献種別    詳細設定 +

国内文献 all     外国文献     非特許文献     J-GLOBAL

検索キーワード

検索項目    キーワード

要約/抄録    玩具    近傍検索

削除    AND

要約/抄録    車    近傍検索

削除    AND

要約/抄録    ゼンマイ    近傍検索

削除    AND

要約/抄録    光    近傍検索

削除    追加

【検索結果一覧画面（一部）】

🔍 検索結果一覧    ヘルプ

国内文献 (3)    外国文献 (-)    非特許文献 (-)

検索一覧オプション    閉じる -

公知年別：全て | 2016年(1件) | 2015年(1件) | 1988年(1件)

FI別：全て | A63(3件)

一覧画面の表示指定 ? :  最先公知優先     公告・登録優先

文献表示画面の表示形式：  
 テキスト表示     分類コードランキング     複数PDFダウンロード     一覧印刷     CSV出力

ヒット件数が少なすぎるように感じたので、Aさんは、次に、検索項目をすべて「全文」に変えて検索することにした。

- ① 検索項目として、すべて「全文」を選び、「玩具」AND「車」AND「ゼンマイ」AND「光」と入力し、そのヒット件数を解答しなさい。ただし、十の位を四捨五入すること。

※検索にあたっては、「テキスト検索対象」で「和文」のラジオボタンを選択し、「文献種別」で「国内文献 all」のチェックボックスのみを選択して行うこと。

- ② 同じく、検索項目として、すべて「全文」を選び、「玩具 おもちゃ」AND「車」AND「ゼンマイ ゼンまい」AND「光 ランプ 点灯」と入力し、そのヒット件数を解答しなさい。ただし、十の位を四捨五入すること。

※検索にあたっては、「テキスト検索対象」で「和文」のラジオボタンを選択し、「文献種別」で「国内文献 all」のチェックボックスのみを選択して行うこと。

- (5) 上記(4)の「全文」を対象にしたキーワード検索でヒットして、「検索結果一覧」に表示された公報は、「発明の名称」から見ても、「乗物玩具」とは関係のなさそうなもの(ノイズ)が多いことがわかった。

上記(4)の①の検索でヒットした公報のうち、実登 3127008 の内容を確認し、本件がヒットした理由として考えられる最も適切なものを、以下の選択肢 a.~e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

なお、文献の技術内容を確認するときには、予め配付されている文献を用いることも可能である。

選択肢：

- a. 考案の名称は「オルゴール玩具」であるが、要約の一部に、オルゴール付きの自動車玩具の考案が記載されている。
- b. J-PlatPat は、検索に使用したキーワードのそれぞれにヒットしたものの和集合が表示されるようになっているため、「ゼンマイ」と直接関係のない公報もヒットした。
- c. オルゴールは、ゼンマイが使われたものが一般的に多いので、J-PlatPat の仕様として、「オルゴール」の文字が記載されていれば、「ゼンマイ」のキーワードでもヒットするようになっている。
- d. キーワードとして、「玩具」、「車」、「ゼンマイ」、「光」を用いた結果、ゼンマイを内蔵し、光源を備えてはいるものの、自動車ではなく「観覧車」の形をした玩具が検索された。
- e. J-PlatPat の検索機能には人工知能が用いられており、少ないとはいえ、一定の割合で無関係な公報も検索される。

- (6) 「要約/抄録」等に対象を絞って行うキーワード検索と、「全文」を対象としたキーワード検索に関する説明として最も適切とはいえないものを、以下の選択肢 a.~e.の中から1つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

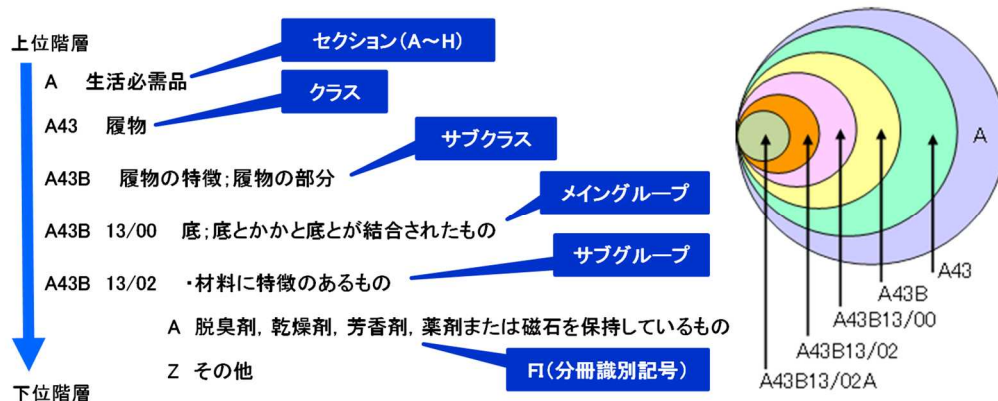
- a. 「要約/抄録」等に対象を絞ったキーワード検索は、「全文」をキーワード検索する場合に比べて、ヒット件数が少なくなることが多い。
- b. キーワード検索の対象を、「要約/抄録」等に絞るか、「全文」を対象とするかは、検索の目的などに応じて使い分けるとよい。
- c. 「要約/抄録」等に対象を絞ったキーワード検索を行うことで、従来よりよく知られている技術を、ノイズを減らして効率的に検索を行う方法がある。
- d. 「要約/抄録」は発明や考案の要旨がまとめられたものなので、同一の発明や考案が過去にあるかないかを調べるためのキーワード検索は、「要約/抄録」を対象とすれば十分であり、「全文」を対象とした検索はあまり意味がない。
- e. キーワードで探したい技術のポイントや技術用語が、公報の「明細書」に書かれていたとしても、「要約/抄録」には書かれていない場合もあるため、「要約/抄録」等に対象を絞った検索を行う場合、検索漏れが生じないための注意が必要である。



- (7) Aさんは、J-PlatPatの「特許・実用新案検索」で、「キーワード検索」を行った結果について先輩のBさんに話したところ、Bさんから、国内の特許文献を検索するには、技術分野や内容により階層構造で分類された特許分類の「FI」を使って検索する方法も、文献の絞り込みには有効であることを教わった。Aさんは、「FI」による検索を試してみることにした。

特許の公報には特許分類が付与されています。特許文献の調査においては、適切な特許分類を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。特許分類には国際的に統一され、各国で共通して使われているIPC（国際特許分類）、日本の特許庁が独自に付与しているFI（File Index）などいくつかの種類がありますが、ここではFIについて学びましょう。

FIは、まず、発明に関する全技術分野をA～Hのセクションに分けています。そしてそれぞれのセクションは、広い技術概念から狭い技術概念へ、更に狭い技術概念へ、というように階層化されています。下図のAセクションの一例を見ると、下位の階層になるほど技術が細分化されているのが理解できると思います。



※特許分類としてのFIの詳細は、J-PlatPatの特許・実用新案分類照会(PMGS)のコード照会から、「検索対象：FI/ファセット」で分類の一部を入力して検索したり、その下の「分類表示」からFIの各セクションの下位階層を展開して調べたりすることができます。なお、FIの入力の際には、いくつかの入力ルールがあるので注意が必要です。例えば、「A43B13/02 A」を入力する場合、J-Platpatでは、「A43B13/02@A」というように半角の@をつける必要があります。

以下の①～④のFIについて、J-PlatPatの特許・実用新案分類照会(PMGS)を利用して、内容を調べなさい。そして、①～④のFIの説明と合致するものを、以下の選択肢a.～d.の中から1つずつ選択し、解答しなさい。

FI

- ① A63H17/00 A
- ② A63H17/28
- ③ A63H29/02 B
- ④ A63H29/04 A

選択肢：

- a. 「乗物玩具」のうち、「細部；付属品」のうち、「電氣的点灯系」
- b. 「玩具のための駆動装置一般」のうち、「ぜんまい仕掛け装置」のうち、「巻上げ」
- c. 「乗物玩具」のうち、「特殊な形態をした走行玩具」
- d. 「玩具のための駆動装置一般」のうち、「ぜんまい仕掛け装置」のうち、「らせん形バネ駆動装置」のうち、「コイルバネの回動力利用」

- (8) 上記(4)でキーワード検索を行った②の式で、「光 ランプ 点灯」のキーワードに置き換えて使用するのに適切な FI を、上記(7)の選択肢①～④の中から1つ選択し、解答しなさい。

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- Buttons: 選択入力, 論理式入力
- Text search target: テキスト検索対象
- Language selection:  和文,  英文
- Document type selection: 文献種別 (国内文献, 外国文献, 非特許文献, J-GLOBAL)
- Search keywords section:
  - Item 1: 全文, キーワード: 玩具 おもちゃ
  - Item 2: 全文, キーワード: 車
  - Item 3: 全文, キーワード: ゼンマイ ゼんまい
  - Item 4 (highlighted): FI, キーワード: 選択 ①～④のうち適切な FI を記入

選択肢：

- ① A63H17/00 A
- ② A63H17/28
- ③ A63H29/02 B
- ④ A63H29/04 A

- (9) 「光 ランプ 点灯」を上記(8)で答えた FI に置き換えた検索を実行して、「国内文献」のヒット件数を解答しなさい。ただし、一の位を四捨五入すること。

- (10) Aさんは、自身のアイデアが過去に特許出願されていたことから、発想を転換して、ゼンマイを使った乗物玩具で、ゼンマイの復元力で発生させた電力を充電することで、走りながらランプの点滅制御をしたり、その他の制御ができるような、新たな乗物玩具のアイデアを思い付いた。

**Aさんの新たなアイデアに関連する可能性のある以下の4件の公報を読み、Aさんの新たなアイデアがすべて記載された公報と段落番号の組み合わせを、以下の選択肢a.～d.の中から1つ選択し、解答しなさい。**なお、文献の技術内容を確認するときには、予め配付されている文献を用いることも可能である。

選択肢：

- a. 特開 2011-067617 【0001】～【0004】
- b. 特開 2011-050725 【0049】～【0053】
- c. 実登 3106512 【0005】～【0007】
- d. 特開 2012-239806 【0023】～【0028】

【問3】のねらい

同じ発明が先に出願されていないかどうかを調べる（先行技術調査）方法を学び、J-PlatPat を利用して実際に検索してみる。

【J-PlatPat の URL】 <https://www.j-platpat.inpit.go.jp/>

【問3】

＜従来製品における課題＞

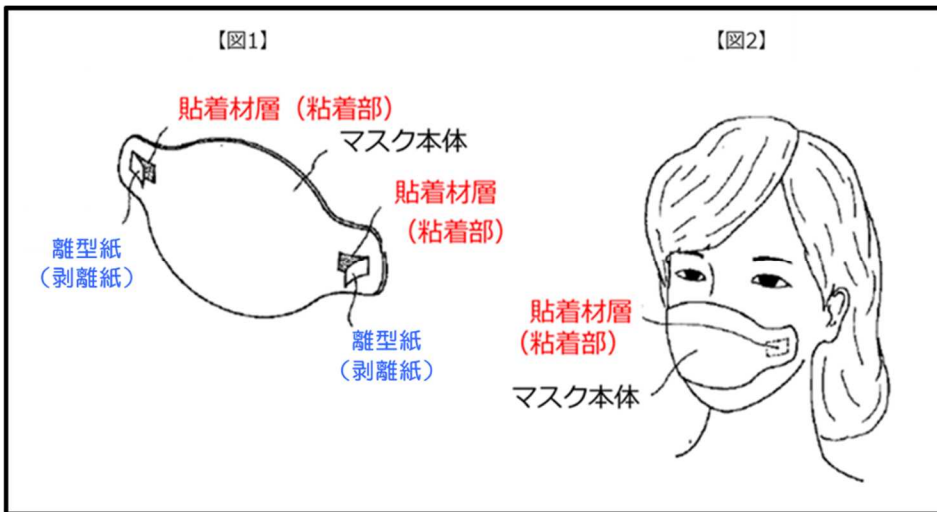
Aさんは、普段から外出するときにはマスクを着けるようにしているのですが、長時間マスクを着けていると耳掛けの部分が擦れることで耳の付け根が痛くなることに悩んでいました。

Aさんは、悩みを解決するために試行錯誤をした結果、耳掛けの代わりに粘着テープで顔に貼り付けるマスクを思い付き、学科の先輩で、特許事務所で働いている弁理士のBさんに相談しました。

＜先行技術の発見＞

Bさんは、特許調査をした結果として、以下のような従来技術（実開平 07-000386）が存在しており、Aさんのアイデアは既に知られていることを教えてくれました。

図1と図2に示すように、従来技術のマスクは、口と鼻を覆うマスク本体の両端の内側に貼着材層（粘着部）を設けて、離型紙（剥離紙）を剥がして貼着材層（粘着部）を顔に貼り付けて使うものでした。



＜先行技術における課題を解決するアイデア（発明）の着想と具体化＞

Aさんは、インターネットで「顔に貼るマスク」と検索をしてみたところ、従来技術のようなマスクは実際の製品としても発売されていることを見つけたので購入して使ってみることにしました。

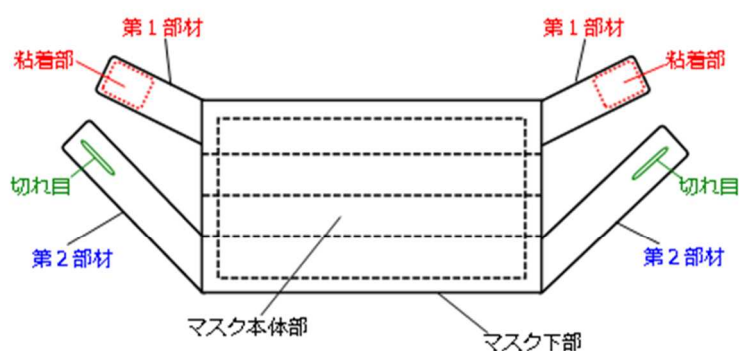
従来技術のマスクを使って過ごしてみると、耳掛けが無いため、耳の付け根が痛くなることなく快適でした。しかし、飲食の際にマスクを外し、再度顔に貼り付けることを繰り返すと、粘着テープの粘着力が落ちてしまい、使えなくなってしまうという問題があることに気づきました。

マスクを顔に貼り付けたまま、飲食のために口元を露出できるようにすれば、粘着テープの粘着力が落ちてしまう問題を解消できると考え、試行錯誤して、新たなアイデアが閃きました。

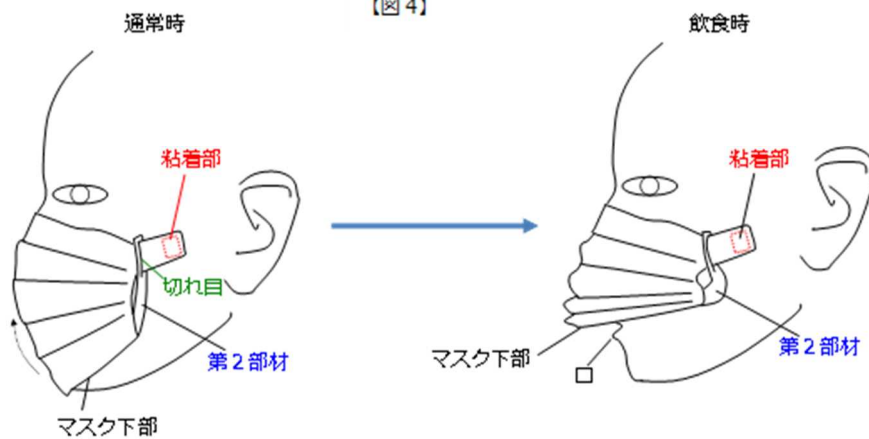
Aさんのアイデア（以下、「本発明」という。）は、まとめると以下のようなものになります。

- A：着用者の鼻及び口を覆うマスク本体部。
- B：マスク本体部の上側の両側部に、マスク本体部を着用者の顔に貼り付けるための粘着部を備えた一对の第1部材がある。
- C：マスク本体部の下側の両側部には、第1部材よりも長さが長い一对の第2部材がある。第2部材の先端部には、切れ目が形成されている。
- D：第1部材が第2部材の切れ目に通されることで、切れ目を介して第2部材が第1部材に対して連結されている。第1部材の粘着部が顔に貼り付いた状態のまま、第2部材が曲がることでマスク本体部の下部を開閉可能であり、口を覆ったり露出したりすることができる。

【図3】



【図4】



### <発明についての先行技術調査>

Aさんは、こんなマスクなら、ヒット商品になるかもしれないと考え、弁理士のBさんに教わりながら、本発明が他者によって先に特許出願されていないかを調べてみることにしました。

特許文献の調査においては、適切な特許分類 (FI) を用いることによって、調べたい技術分野に対応した関連性の高いヒット文献集合を得ることができます。

特許分類は、広い技術概念から狭い技術概念へ、更に狭い技術概念へ、というように階層化されています。マスクに関する技術は、呼吸マスクまたはヘルメットに関する技術に関する FI である「A62B18/00」の下位の「A62B18/02」が割り振られています。

「A62B18/02」は、分冊識別記号 (A,B,C,Z の記号) によって、更に階層に細分化されており、特に、Aさんのマスクの発明は、衛生用のマスクに関するものであるため、「A62B18/02 C」の「衛生マスク」に分類されています。

以下は、FI のごく一部を抜粋したものです。これら以外にも同階層の分類や、更にドットの多い下位階層の分類も存在します。(詳細は、J-PlatPat の「特許・実用新案」→「特許・実用新案分類照会 (PMGS)」で調べることができます。)

#### [ F I 一部抜粋 ]

A62B	人命救助用の器具, 装置または方法
A62B18/00	呼吸マスクまたはヘルメット
A62B18/02	・ マスク
A62B18/02 A	防煙・防毒マスク
A62B18/02 B	防塵マスク
A62B18/02 C	衛生マスク
A62B18/02 Z	その他のもの

---

調査には、J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を用いて、以下の問いに答えなさい。

- (1) 調査を開始するにあたり、まず発明を整理する必要がある。本発明の必須の構成として適切とはいえないものを、以下の選択肢 a.~e.の中から2つ選択し、解答しなさい。

選択肢：

- a. マスク本体部
- b. 耳掛け
- c. 粘着部
- d. 切れ目
- e. 飲食

- (2) 自分が考えた発明が、他人によって既に特許出願されていないかどうかを調べるためには、検索式を作成して、多くの特許文献の中から自分の発明に関連する技術が記載されたものを探し出す必要がある。一般に検索式は特許分類で技術概念を指定した上で、発明の特徴的な要素に関するキーワードを掛け算（AND）する形で作成される。

**J-PlatPat の「特許・実用新案検索」を使い、本発明の FI とキーワードを用いて検索するとき、以下の検索式①～③に優先して入力すべきキーワードを、選択肢 a.～e.の解答群の中から3つ選択し、解答しなさい。**

【J-PlatPat 特許・実用新案検索画面】

The screenshot shows the J-PlatPat search interface. At the top, there are two tabs: '選択入力' (Selected Input) and '論理式入力' (Logical Formula Input). Below this, the 'テキスト検索対象' (Text Search Target) section has radio buttons for '和文' (Japanese) and '英文' (English). The '文献種別' (Document Type) section has checkboxes for '国内文献' (Domestic Literature), '外国文献' (Foreign Literature), '非特許文献' (Non-patent Literature), and 'J-GLOBAL'. The '検索キーワード' (Search Keywords) section has a dropdown for '検索項目' (Search Item) and a text input for 'キーワード' (Keyword). Below this are three rows of search criteria, each with a dropdown for '検索項目' (Search Item) and a text input for 'キーワード' (Keyword). Each row has a '削除' (Delete) button and a '近傍検索' (Nearby Search) button.

- ※ 検索キーワードの入力エリアに FI を入力するときには、検索項目はプルダウンで「FI」を選択し、キーワードを入力するときには「全文」を選択すること。
- ※ 「A62B18/02 C」を入力する場合、「A62B18/02@C」というように、分冊識別記号「C」の前に半角の@を付ける必要がある。
- ※ 指定した FI の「A62B18/02@C」には、「衛生マスク」という概念が既に含まれていることに注意すること。
- ※ 選択肢のキーワードには、考慮した方が良いと考えられる同義語・類義語・異表記が含まれていることに注意すること。

- 選択肢：
- a. 耳掛け、みみ掛け、ミミ掛け
  - b. 粘着、接着、貼着、貼り付、貼付
  - c. 切れ目、切目、スリット
  - d. 連結、接続、繋ぐ、繋ぎ、繋げ
  - e. マスク、覆い

(3) 上記(2)で答えた検索式を用いて検索を実行して、「国内文献」のヒット件数を解答しなさい。  
 ただし、一の位を四捨五入すること。検索は、「テキスト検索対象」として「和文」のラジオボタン  
 を選択し、「国内文献 all」のチェックボックスを選択して行うこと。

(4) 上記(3)の検索結果や、別の検索式の検索結果により、本発明に関連する以下の4つの文献を発見した。

本発明に最も近い技術が記載されている文献を以下の選択肢 a.~d.の解答群の中から1つ選択するとともに、本発明の構成を最もよく説明している段落番号(【 】内の番号)が記載された組み合わせを以下の選択肢 a-1.~d-3.の解答群の中から1つ選択し、解答しなさい。

また、文献の技術内容を確認するときには、予め配付されている文献を用いることも可能である。

特許文献の選択肢	段落番号の選択肢
a.特開 2014-008367	a-1. 【0011】 【0013】 【0014】 【0015】 a-2. 【0028】 【0029】 【0030】 【0031】 a-3. 【0011】 【0013】 【0017】 【0018】
b.特開 2016-137104	b-1. 【0041】 【0042】 【0043】 【0044】 b-2. 【0023】 【0026】 【0027】 【0029】 b-3. 【0023】 【0044】 【0045】 【0046】
c.特開 2014-168649	c-1. 【0010】 【0011】 【0012】 【0021】 c-2. 【0014】 【0015】 【0018】 【0019】 c-3. 【0010】 【0011】 【0017】 【0019】
d.特開 2007-020983	d-1. 【0016】 【0018】 【0020】 【0021】 d-2. 【0016】 【0017】 【0018】 【0019】 d-3. 【0014】 【0021】 【0022】 【0023】

特許検索競技大会2020 スチューデントコース

No. \_\_\_\_\_

--

◆解答用紙◆ \*解答欄に記入または○を付けてください。

氏名 \_\_\_\_\_

【問1】

(1)	1.	登録第		号	(7桁の数字で記入)		
(2)		a.	b.	c.	d.	e.	(3つ選択)
(3)	①			年	月	日	(西暦で記入)
	②			年	月	日	( " )
	③			年	月	日	( " )
	④			年	月	日	( " )
	⑤	a.	b.	c.	d.	e.	

【問2】

(1)				年	月	日	(西暦で記入)
(2)		a.	b.	c.	d.	e.	(2つ選択)
(3)		a.	b.	c.	d.	e.	
(4)	①	00	件	(十の位を四捨五入すること)			
	②	00	件	(十の位を四捨五入すること)			
(5)		a.	b.	c.	d.	e.	
(6)		a.	b.	c.	d.	e.	
(7)	①	a.	b.	c.	d.		
	②	a.	b.	c.	d.		
	③	a.	b.	c.	d.		
	④	a.	b.	c.	d.		
(8)		①	②	③	④		
(9)		0	件	(一の位を四捨五入すること)			
(10)		a.	b.	c.	d.		

【問3】

(1)		a.	b.	c.	d.	e.	(2つ選択)
(2)		a.	b.	c.	d.	e.	
(3)		0	件	(一の位を四捨五入すること)			
(4)	特許文献		a.	b.	c.	d.	
	段落番号	a-1. a-2. a-3. b-1. b-2. b-3. c-1. c-2. c-3. d-1. d-2. d-3.					